

Newsletter

ニューズレター VOL.5

秋の葉号

お問い合わせ先 Tel:042-594-9810
e-mail:office@inochi-museum.or.jp
ホームページ http://inochi-museum.or.jp/

いのちのミュージアム

Topic

<1周年記念メッセージ展>

9/24(土)、いのちのミュージアム開館1周年記念として『生命のメッセージ展』を開催しました。来場者は、約350名。当日は、旧百草台小学校の体育館に146命のメッセンジャーが立ち並び、来場した方に「今日を生きる奇跡」を伝えてくれました。午後からは、メッセージ展参加家族でもある、NPO法人ジェントルハート理事の小森美登里さんやNPO法人全国自死遺族総合支援センター事務局長の南部節子さんのご講演がありました。9月10日はWHOが定めた自殺防止デーということで自死をテーマとしました。いのちのミュージアムでは、様々な死を伝えることは様々な生を伝えることとして、これからも「いのちの大切さ」を発信する場として、いろいろなお立場の方と連携して、「いのちについて考える」機会を提供していこうと決意を新たにいたしました。

<夏休みのミュージアム>

7～8月のいのちのミュージアムでは、酷暑のなか、ご来観される方は少なかつたものの、夏休みの宿題のテーマに取り上げたいと、近隣に住む小学生の来館が数回ありました。子どもだけ3人で来館したり、母親と一緒に来館し、メッセンジャーと向き合うお子さんもいらっしゃいました。子どもが「いのち」について触れ、感じ、考える貴重な時間となったのではないのでしょうか。また、6月に入って始まった団体の研修旅行も引き続き行われました。扇風機しかない暑い教室で、犯罪被害者の現状について学んだ更生保護女性会の方々は、加害者更生へのヒントを得られたのではないかと思います。

<メッセンジャー九州・近畿へ>

7/16に近畿方面のミニメッセージ展に派遣するメッセンジャー29命を誕生させました。以前に、九州方面への拠点として山口県の被害者支援センターに30命のメッセンジャーを派遣していましたが、また一段と日本各方面でのメッセンジャー活躍の場が広がりました。今までも、本開催(メッセンジャー全員による『生命のメッセージ展』)やミニ開催を通じて全国展開していましたが、各地にメッセンジャーの拠点をすることでよりスムーズに開催を行うことができるようになりました。支援センターとコラボしての開催や、各学校現場での『命の授業』の展開等、様々な形態でのメッセージ展が行われています。詳細は下記【メッセンジャーの旅】をご覧ください。

メッセンジャーの旅

◇本開催◇ 7、8、9月の軌跡
in 秋田 (7/30) in 敦賀 (9/10、11) in いのちのミュージアム 9/24
◇ミニ◇
イオンシネマ佐賀大和 (7/8) 昌平小学校 (7/14) ライフガーデン (7/17)
ハートフルスクエア (8/1～14) 笠間公民館 (8/28) 三井デュポフロロ
ケミカル (9/14) 市民交流センターひらの (9/16、17) 杉並区役所
9/26～10/5

○多目的ホール

夏の陽射し暑い中では、窓を開け、扇風機を回していました。そんななかで、更生保護女性会の研修会がありました。みなさん、真剣に館長の講演に聞いていました。

○廊下ギャラリー

- 米村泰彦、母 純子の作品展
- タマリン展
- 丸谷光生展
- 絵本作家 てらしまたけし作品展示(アトリエに移動)
- 「生まれてきてくれてありがとう」あかちゃんの写真展

館長より

開館1周年を迎えることができたことに、感謝いたします。「いのちの大切さ」を伝える形は様々ですが、『いのちのミュージアム』として、独自の取り組みをこれからも模索していきたいと思っております。

事務局から

1周年記念のメッセージ展は開催99回目。次にメッセージ展が始まって10年100回目生命のメッセージ展が日本財団ビルで開催されました。(10/3～7)詳細は次号でお知らせします。

下記URLでも見れます(‘マイブレイス’をクリック)

<http://maps.google.co.jp/maps?hl=ja&tab=wl>



裏面の画像もご覧下さい